

小学部第5学年 図画工作科授業計画案

1 単元名 「えらんで作ろう！コラージュ」

2 単元設定の理由

本学級は12名で構成されている。学級の特色として、図工などの造形活動に興味をもって取り組める児童の多いことが挙げられる。完成した作品を自分のものとして大切にしたり、友達同士で作品を見せ合ったりして楽しむ児童もいる。また、休み時間を利用してはさみやのりを使い、自分の好きな絵柄を切り抜いて画用紙にはって楽しむ児童もいる。一方で、ものを選ぶことやはさみやのりを使用すること、着席して活動することが難しい児童もあり、実態は多様である。

コラージュは、自分の好きな絵や写真などを選んで並べていくことで、形や色、構成のおもしろさを感じることのできる造形活動である。選ぶ絵柄や並べ方に決まりはなく、身近な材料を使って自分の好きな形に構成していくことができる。活動の手順がわかりやすく、はさみやのりなどの用具の使い方にも慣れることができる。また、はさみの使用が難しい児童も、指先でちぎったり、予め適当な形に切った絵や写真等を貼ったりすると、活動に取り組みやすくなる。さらに、材料として児童が興味のある絵柄を用意することにより、意欲的に取り組むことのできる学習だと思われる。

この単元を通して、児童が自分から好きな絵柄を選び、楽しみながら造形活動に取り組めるようにしたい。また、選んだ絵柄を工夫しながら構成していくことで、形や色、構成のおもしろさを感じながら作品を表現できるようにしたい。制作の過程では、手順や方法をわかりやすく提示することで、落ち着いて活動に取り組むと考える。さらに、完成した作品を鑑賞しあうことで、それぞれの作品のおもしろさや違いに気づくことも期待したい。

3 目標

- 好きな絵や写真を選び、組み合わせのおもしろさを感じながら構成することができる。
- はさみやのりに親しみながら、造形活動に取り組むことができる。

4 授業計画（4時間扱い）

第1次 えらんではってみよう・・・・・・・・・・・・ 1時間

第2次 えらんで作ろう！・・・・・・・・・・・・ 3時間（本時は2時間目）

5 本時の学習内容

(1) 目標

ア 全体目標

- ・自分で絵や写真を選び、自由に構成して楽しむことができる。
- ・活動内容が分かり、意欲的に制作に取り組むことができる。

イ 児童の実態及び個別目標と支援の手立て

氏名	実 態	個 別 目 標	支援の手立て
A	<ul style="list-style-type: none">・たくさんある中から自分の好きな絵柄を選ぶことができる。・はさみを動かし短い直線を切り、大まかな部分にのりづけできる。	<ul style="list-style-type: none">・好きな絵柄を組み合わせて、楽しみながら制作することができる。	<ul style="list-style-type: none">・選んだ絵柄を、教師が切り抜きやすい形にしてから渡すことで、その後の活動に一人で取り組めるようにする。
B	<ul style="list-style-type: none">・たくさんある中から自分の好きな絵柄を選ぶことができる。・はさみで大体の形を切り抜き、のりづけできる。	<ul style="list-style-type: none">・自分から好きな絵柄を選び、切ったり、のりづけたりする活動に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none">・絵柄を見ることに関心がいき、活動が逸れてしまったときは、具体物を見せて見通しをもたせてから次の活動に誘う。

C	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんある中から自分の好きな絵柄を選ぶことができる。 ・はさみで小さな絵柄を切り抜き、大まかな部分にのりづけできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵柄を組み合わせて、楽しみながら制作することができる。 ・活動内容が分かり、自分から取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のあるプラレールの素材集を用意しておき、その中から自由に選べるようにする。
D	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の言葉かけで、自分の好きな絵柄を選ぶことができる。 ・はさみで短い直線を切り、大まかな部分にのりづけできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で絵柄を選び、場所を決めてのりづけすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に自信のもてない様子が見られたときは「いいんだよ」など安心できるような言葉かけを行い、自信をもって取り組めるようにする。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物の写真に興味があり、よく見ていている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵柄を選び、教師と一緒に台紙にはることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある切り抜いた絵柄を2種類提示し、どちらかを選べるようにする。 ・のりづけした絵柄を台紙にはる活動を教師と一緒にを行う。
F	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんある中から自分の好きな絵柄を選ぶことができる。 ・はさみで小さな絵柄を切り抜いたりのりづけしたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵柄を組み合わせて、楽しみながら制作することができる。 ・活動の手順や内容が分かり、自分から取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜称賛や励ましの言葉かけを行い、意欲的に取り組めるようにする。 ・隣の教室へ様子を見に行った場合は、自分から戻って来るのを待つ。
G	<ul style="list-style-type: none"> ・用意された絵柄の中から、教師の言葉かけで好きなものを選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵柄を選び、教師と一緒に台紙にはることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある切り抜いた絵柄を数種類提示し、自分で選べるようにする。 ・気持ちの不安定なときは好きな遊びを一緒に行いながら落ち着くのを待つ。
H	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの中から、自分の好きな絵柄を選ぶことができる。 ・はさみで直線を切り、大まかな部分にのりづけできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵柄を選び、切ったり、のりづけしたりすることができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「次は○○しようね」と言葉かけにより次の活動を促す。 ・切りにくい絵柄のときは、切り取り線を書き込むことで、線に沿つて切り抜けるようにする。
I	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のあるものであれば好きな絵柄を選ぶことができる。 ・はさみで直線を切り、大まかな部分にのりづけできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵柄を選び、切ったりのりづけしたりすることができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「○○してね」と次に行う活動を言葉かけで示すことで、スムーズに活動できるようにする。時間のかかる場合も急がせずに待ち、落ち着いて取り組めるようにする。
J	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんある中から自分の好きな絵柄を選ぶことができる。 ・はさみで大体の形を切り抜き、のりづけできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵柄を組み合わせて、楽しみながら制作することができる。 ・活動の手順や内容が分かり、取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある素材集を用意しておき、自由に選べるようにする。
K	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんある中から自分の好きな絵柄を選ぶことができる。 ・はさみで大体の形を切り抜き、小さな物ものりづけできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな絵柄を組み合わせて、楽しみながら制作することができる。 ・活動の手順や内容が分かり、自分から取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味のある素材集を用意しておき、自由に選べるようにする。

L	<ul style="list-style-type: none"> たくさんある中から自分の好きな絵柄を選ぶことができる。 はさみで直線を切り、部分的にのりづけできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな絵柄を組み合わせて、楽しみながら制作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある素材集を用意しておき、称賛の言葉かけをしながら自信をもって活動に取り組めるようにする。
---	---	--	--

(2)準備物・資料

ホワイトボード、授業カード、手順表、材料（絵、写真、広告、紙テープ他）、紙バッグ、はさみ、のり、マグネット、写真カード、ゴミ箱、皿

(3)展開

時間	学習内容及び活動	支援の手立てと評価
15分	<p>1 あいさつをする。（学習形態1） ・全員ではじまりのあいさつをする。</p> <p>2 本時の学習内容を知る。 自分のてさげをつくろう ・見本を見る。</p> <p>3 活動の手順を知る。 1 すきなえやしゃしんを えらぶ 2 はさみで きる 3 のりで はる </p> <p>4 グループ分けを知る。 ・グループ発表 <○○先生グループ> <△△先生グループ></p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業カードを提示し、何の授業が始まるのかを意識できるようにする。 実際に作った手さげ袋を見せ、制作に対する意欲を引き出すようにする。 ○E, GはT3, T5が個別に対応し、様子を見ながら授業に参加できるようにする。 手順表をはると同時に、実際に作って見せることで、活動の手順を視覚的にわかりやすくする。
25分	<p>5 グループに分かれて活動する。</p> <p>(1) 教室移動 ・<○○先生グループ>は別教室へ移動する。</p> <p>(2) 制作 ・机を準備する。 ・用具を準備する。 (紙バッグ、皿、はさみ、のり) ・窓際の棚へ行き、絵柄を選んで取る。 ・絵柄をはさみで切り抜く。 ・紙バックに絵柄をのりづけする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人で取り組むグループと教師と一緒に取り組むグループの2つに分かれて活動することで、少人数で落ち着いて活動できるようにする。 絵柄の並べ方は児童に任せ、自由に構成できるようにする。 よくできた点、工夫されている点を称賛しながら、意欲的に取り組めるようにする。 <○○先生グループ>は、できるだけ自分で制作できるように、必要に応じて言葉での指示を行う。 ○Fが別教室の様子を気にしているときは、確認に行かせることでその後の活動に落ち着いて取り組めるようにする。 ○Hが小さな絵柄を選んだときは、切り抜き線を書き加え、一人で切り抜けるようにする。 <評>活動内容が分かり、集中して活動に取り組むことができたか。(○○先生グループ) <△△先生グループ>は、一人ずつ教師がつき、自分で絵柄を選べるように言葉かけや指差し等を行う。 複数の絵柄の入った紙、切り取り線を書き入れた絵柄、切り抜いた絵柄などを用意しておき、児童の実態に応じて使用できるようにする。 はさみの使い方が危険な場合は、教師が一緒に持って行うことで、安全に使用できるようにする。 ○Bが早く作り終えた場合、作品を作り上げたことを称賛

	(3) 最初の活動の教室に集まる。	し、好きな本を読むことで時間まで待てるようとする。 ○Dが教師に確認を求めてきた場合は、励ましや称賛の言葉かけをしながら自信をもって取り組めるようする。 ○Eが着席して取り組むことが難しい場合は、その場で教師と一緒に活動する。教室外へ出たがる様子が見られたときは、表情を見ながら対応するようする。 ○Gがカード遊びや音楽を聞くことを要求してきた場合は、要求を受け入れながらその場にいられるようする。音楽をかける場合には、極力小さな音量でかけるようする。 ○Iは時間内に作品を完成させられるよう早めに次の活動への言葉かけを行うようする。 <評>好きな絵柄を選ぶことができたか。 (△△先生グループ) <評>絵柄を好きな場所にはことができたか。 (△△先生グループ) <評>選んだ絵柄を自由に構成して、楽しみながら制作することができたか。(○○先生グループ) ・机を後方に置き、発表がよく見えるような形態に座る。 ・作品はT 1がまとめて持ち、発表者に注目できるようにする。 ・工夫された点よくできた点などを称賛し、活動に対する達成感がもてるようする。 ・作品の感想を聞くことで、友達の作品のおもしろさにも気付けるようする。 ・発表した作品はホワイトボードに掲示し、それぞれの作品をじっくり見たり比較したりできるようする。
5分	6 作品の鑑賞をする。 ・自分の作品を発表する。 ・友達の作品を見た感想を発表する。 7 あいさつをする。 ・2組の日直が号令をかける。	